



Toyo University supports the Sustainable Development Goals

2023年

11月24日(金)

時間 14:45 ~ 16:15 (開場 14:15)

会場 東洋大学 白山キャンパス  
スカイホール(2号館16階)

食環境科学領域で活躍する最先端の企業人や研究者(フロンティアサイエンティスト)を招聘する食の未来研究フォーラム。今回は総合地球環境学研究所の山極壽一所長をお招きします。人類進化的な観点から食についてご講演いただき、未来の食を考えます。



参加のお申込み

11月21日(火)までにお申込みをお願いします。  
定員に達し次第、申込みを締め切ります。



会場へのアクセス

学外者の方にはキャンパス入構時に必要な「入構証」を、お申込時のメールアドレスに前日までにお送りします。

【問合せ先】 東洋大学板倉事務課大学院担当 (mlfinkiyomu@toyo.jp)

講演 14:55 ~ 15:15

「トウガラシとわさびの食文化」

金 賢珠 食環境科学部 教授

韓国の代表的な食べ物であるキムチ!その薬味に使われるのがトウガラシです。調味料のイメージが強いですが、実は、生野菜として食することも多いです。一方、わさびは、日本食の中心にある刺身や寿司に欠かせない薬味です。こちらも、調味料としての使用に加え、わさび漬けや漬物にして食べます。共に、辛味を楽しむ野菜ですが、それぞれの楽しみ方は異なります。長さ15cmのトウガラシとわさびが導く食文化の話です。

1997年3月東北大学大学院農学研究科食糧化学専攻博士課程修了(博士(農学))1997年~1999年国立健康・栄養研究所で流動研究員、2000年~02年米・ウィスコンシン大学大学院のポストドクターを経て、18年城西大学薬学部准教授。20年に帝京平成大学健康メディカル学部准教授に就き、23年4月から現職。

15:20 ~ 16:10

「食の進化とコミュニケーション」

山極 壽一氏 総合地球環境学研究所 所長

人類の祖先を含む類人猿の仲間のはかつてアフリカの熱帯雨林に多くの種が生息していましたが、しだいにサル類の台頭に押されて勢力を減退させました。その原因は消化力にあります。その弱みを強みに変えた人類の進化について解説します。

ルワンダ共和国カリソケ研究センター客員研究員、日本モンキーセンター研究員、京都大学霊長類研究所助手、京都大学大学院理学研究科助教授、同教授、同研究科長・理学部長を経て、2020年まで第26代京都大学総長。人類進化論専攻。屋久島で野生ニホンザル、アフリカ各地で野生ゴリラの社会生態学的研究に従事。日本霊長類学会会長、国際霊長類学会会長、日本学術会議会長、総合科学技術・イノベーション会議議員を歴任。

食の未来への架け橋

食の未来研究フォーラム

「食のフロンティアから学ぶ食の未来への架け橋プロジェクト」

対面開催



東洋大学

https://www.toyo.ac.jp/academics/gfns/